

II 予算の全体概要

1 予算の規模

【新しいまちづくりへの変革予算】
 ～ コロナを乗り越え、人口減少にも負けないまちへ ～

一般会計予算 418億円 対前年度比4.5%増
 全会計予算 840億1,927万円 対前年度比2.5%増

【会計別当初予算の規模】

(単位:千円)

会 計	3年度予算 A	4年度予算 B	差引増減 B-A	伸び率	
一 般 会 計	39,991,000	41,800,000	1,809,000	4.5%	
主 な 増 減	中 学 校 施 設 改 修 事 業 費	532,648	651,120	118,472	
	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス ワ ク チ ン 接 種 実 施 事 業 費	0	662,012	662,012	
	定 期 接 種 事 業 費	301,585	411,388	109,803	
	三 田 駅 前 C ブ ロ ッ ク 地 区 再 開 発 事 業 費	287,894	1,401,658	1,113,764	
	病 院 会 計 貸 付 金	500,000	0	△ 500,000	
特 別 会 計	20,523,000	20,896,200	373,200	1.8%	
企 業 会 計	21,430,715	21,323,071	△ 107,644	△ 0.5%	
計	81,944,715	84,019,271	2,074,556	2.5%	

増減の主な要因

①一般会計

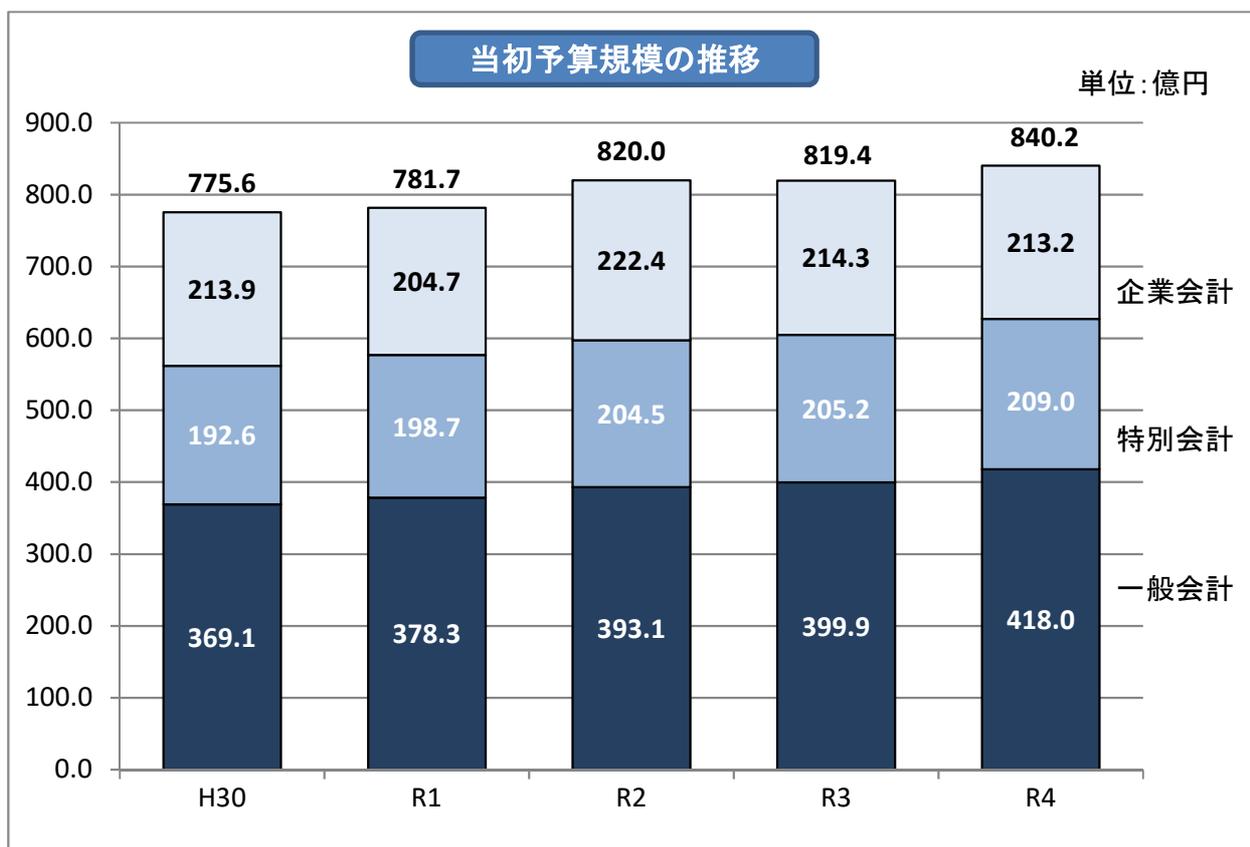
一般会計では中学校施設改修事業費が1.2億円、新型コロナウイルスワクチン接種実施事業費が6.6億円、定期接種事業費が1.1億円、三田駅前Cブロック地区再開発事業費が11.1億円増加する一方、病院会計貸付金が5.0億円の減少となっており、一般会計全体では18.1億円の増となっています。

②特別会計

特別会計では主に給付費の増等により、国民健康保険事業特別会計で1.4億円の増、介護保険事業特別会計で1.9億円の増、後期高齢者医療事業特別会計で0.4億円の増となり、特別会計全体では3.7億円の増となっています。

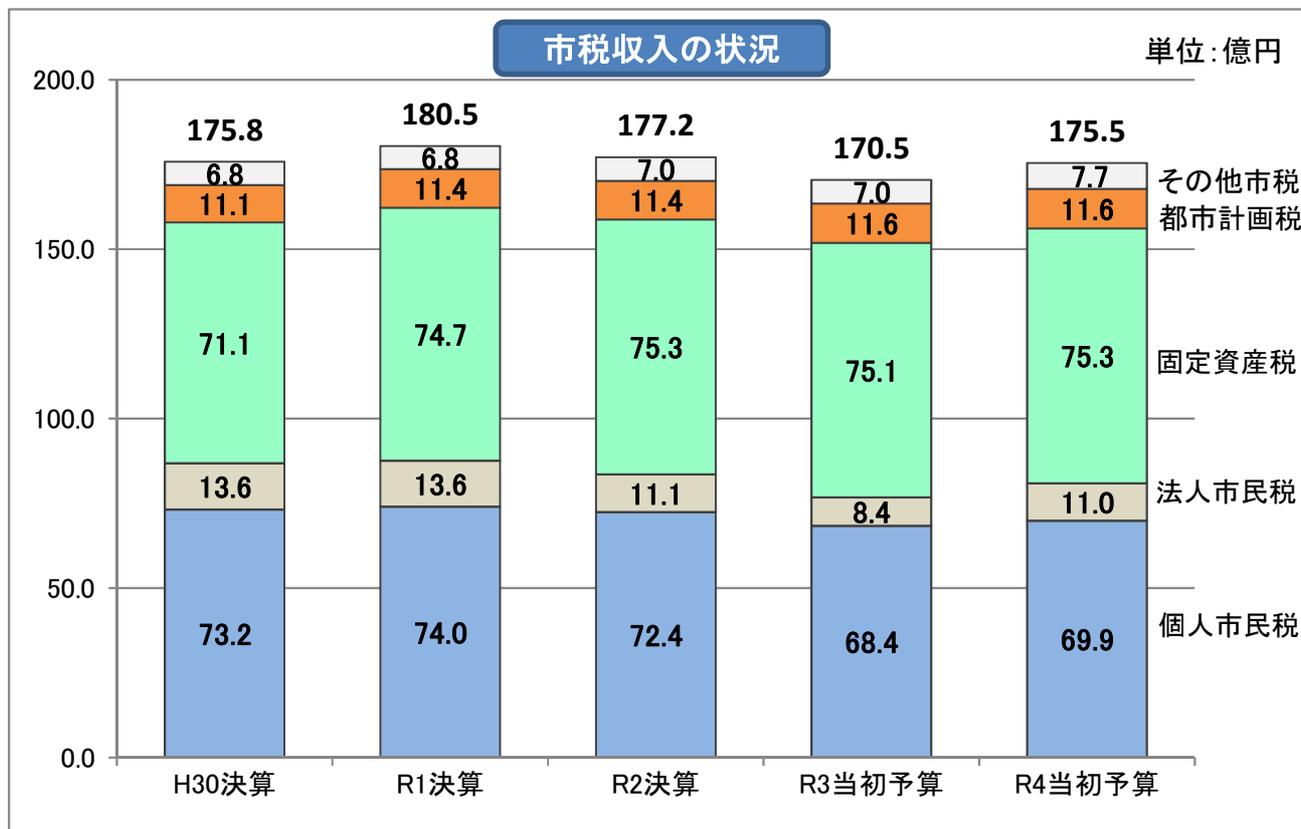
③企業会計

市民病院事業会計は、建設改良費、企業債償還金等の減により0.7億円の減、水道事業会計は、建設改良費、投資有価証券の増等により1.5億円の増、下水道事業会計は、建設改良費の減等により1.8億円の減となっています。



2 市税収入の状況

市税収入は175.5億円で、対前年度当初比5.0億円増(3.0%増)
個人・法人市民税などが増収



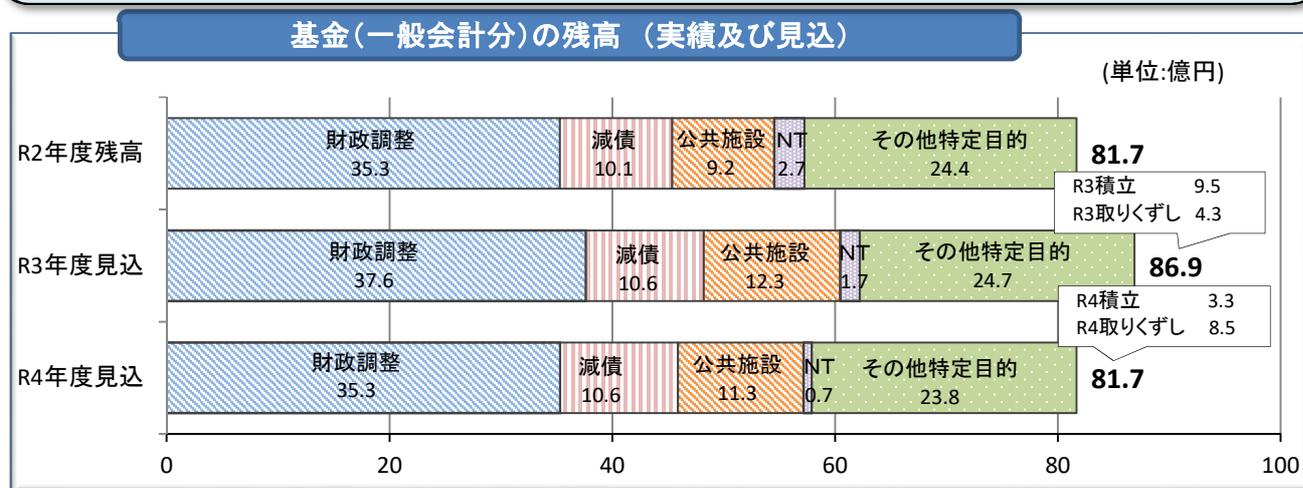
市税収入は、令和3年度当初予算より5.0億円の増加を見込んでいます。

その主な要因は・・・

- ・個人市民税は、雇用報酬の増加見込等を踏まえ、1.5億円の増加を見込んでいます。
- ・法人市民税は、市内法人の収益上昇を見込み、2.6億円の増加を見込んでいます。

3 基金(貯金)残高の状況

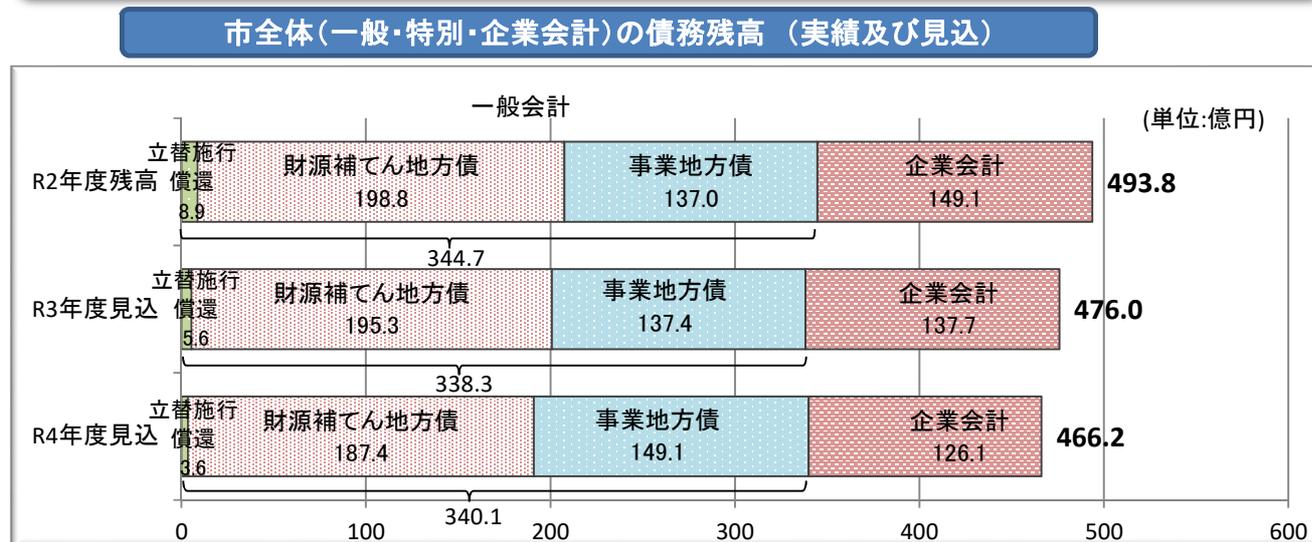
基金を活用して道路・公園の植栽管理などを行うほか、収支調整として財政調整基金からの取りぐずし2.3億円(対前年度2.7億円の減)を計上し、総額8.5億円を活用します。令和4年度末残高見込は、81.7億円(対前年度5.2億円の減)



4年度は、子育て支援や子どもの教育などに2.0億円(ありがとう!三田っ子応援基金)、新型コロナウイルス感染症対策に0.3億円(さんだエール基金)のほか、特定の目的のために3.9億円、収支調整として2.3億円(財政調整)、合計8.5億円を取りぐずし活用して、事業を実施します。

4 債務(借金)残高の状況

一般会計の債務残高(立替施行償還含む)は、令和4年度末見込で340.1億円
 特別・企業会計を含む全体の債務残高は、466.2億円(対前年度9.8億円の減)



三田市の債務には、地方債の借入債務とニュータウン教育施設等の買い戻し債務(立替施行償還)があります。市全体では、借入額を償還額が上回り、債務削減が進む一方、臨時財政対策債などの財源補てん的地方債の割合が高くなっていることが課題となっています。また、老朽化した公共施設の改修や更新経費の増加に伴い、事業地方債の残高が増加しています。この傾向は今後も継続することが予想されるため、収支見通しを踏まえてコントロールする必要があります。

